

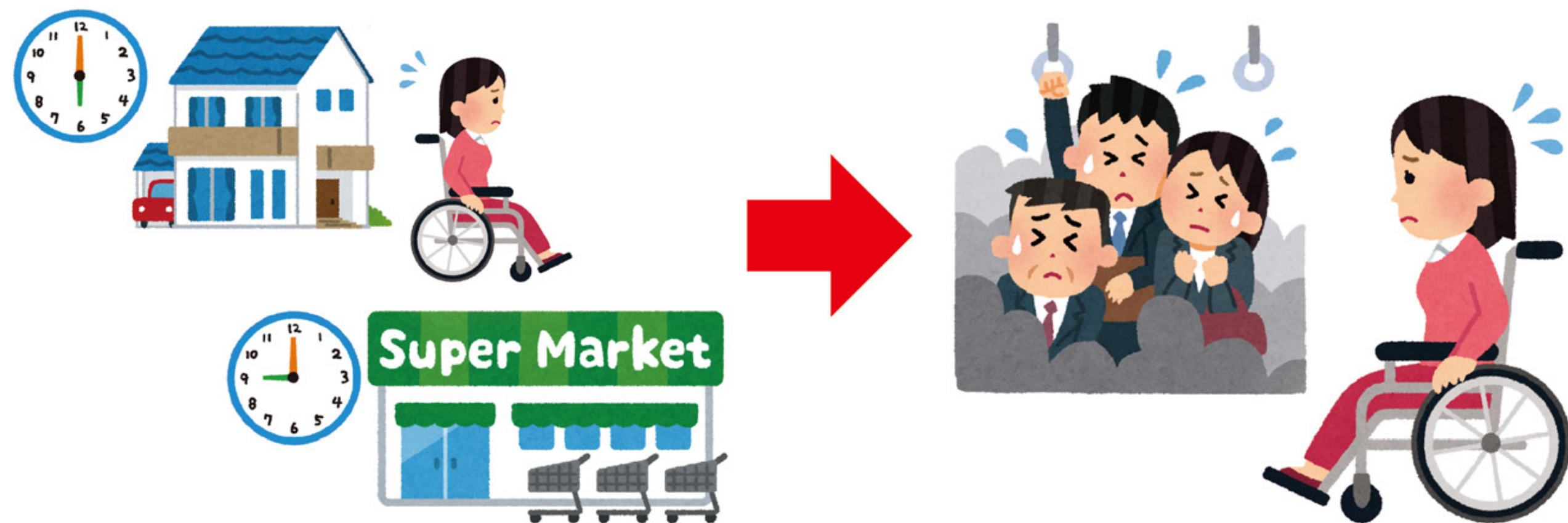
車いすをつかっている人の場合



車いすをつかっている人は、階段もつかえないので、動くのに時間がかかります。また、混雑した場所が苦手です。

コロナウイルス感せんを防ぐため、スーパーが障害者の人たちにお買い物時間を作ってくれたけど…。

●朝早いスーパーのお買い物時間に出かけるとき



朝早い時間にスーパーがお買い物時間を作ってくれた時、障害のある人はいろんな事に時間がかかるので朝早くに出かけるのは大変です。
また、電車やバスは朝、大変混雑しているので利用するのがむずかしいです。

●買い物にヘルパーさんをつたのむとき

わたしたちが、何かできることを考えてみよう！



うつったり、うつしてしまったりするかもしれないという不安があるので、たのむ事がむずかしい。

耳が聞こえない人の場合



耳が聞こえない人は、いつも手話をつかって話しをしたり、話しをしている人の口のかたちで、何を話しているかわかたりしています。

目で見ることが、コロナウイルスによって…。

●相手がマスクをしたまま話しをしているとき



耳が聞こえない人は「見る」ことで理解しますが、マスク顔ではわかりにくく、話しかけられているのかも気づきません。

●大切なテレビの放送があるとき



手話通訳さんが画面にうつらなかつたり、フェイスシールドの光の反しやで口もとが見えにくくなっていました。

●スマホをつかうとき



話した声を文字にするアプリを使うとき、マスクのせいで、より伝わりにくい。

●レジでお金を払うとき



レジ係の人は、マスクのために「ふくろはいりますか？」と話しかけてきてもわかりません。時間がかかたり、対応してくれなかつたりします。